

海と共に

広報

年頭あいさつ

新年あけましておめでとうとございます。年頭にあたり、組合員の皆さまならびに漁協関係の皆さまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

まして衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。さて、昨年を振り返り、まずと沿岸養殖業、漁船業ともに苦難の一年で

日本産水産物の輸入規制」に関し、WTO上級委員会の判断が出されました。このことにより、当県をはじめ8県産水産物などの輸出が、いまだに再開のめどが立っておりません。これらを含め国ならびに関係機関に対し、復興

凶漁と、依然として厳しい状況でありました。一日も早い海況と資源の回復を願うものであります。そのような状況の中、各浜は漁港整備・防潮堤工事・各種の道路工事が継続中で不便を余儀なくされておりますが、年明けの浜は盛漁期を迎え、不撓不屈（ぶとうふく）の精神を持った漁業者の活気が満ちあふれ、浜は活気を取り戻しつつあります。

この大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く理解してもらい、つくり育てる漁業を進め日本の漁業の振興と発展を図ることを目的とするものです。組合員の皆さま、大会に向けて、みやぎの水産を一緒に盛り上げていきましょう!!

この大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く理解してもらい、つくり育てる漁業を進め日本の漁業の振興と発展を図ることを目的とするものです。組合員の皆さま、大会に向けて、みやぎの水産を一緒に盛り上げていきましょう!!

この大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く理解してもらい、つくり育てる漁業を進め日本の漁業の振興と発展を図ることを目的とするものです。組合員の皆さま、大会に向けて、みやぎの水産を一緒に盛り上げていきましょう!!

この大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く理解してもらい、つくり育てる漁業を進め日本の漁業の振興と発展を図ることを目的とするものです。組合員の皆さま、大会に向けて、みやぎの水産を一緒に盛り上げていきましょう!!

持続的発展に向け一丸 海況と資源の回復願う

経営管理委員会会長・丹野一雄

まずもって、昨年の大規模台風15号・19号で被災された皆さまにあつたため

1月には仙台港での重油流出事故によるノリ生産の中止、4月にはわが国の世界貿易機関(WTO)紛争解決手続きを利用して

被災地のわれわれ漁業者の気持ちに寄り添い、希望を持って漁業経営に取り組める環境整備を強く要請してまいります。

また、漁船漁業におきましても春漁のイサダ、コウナゴの不漁に加え、イカ、サンマ、秋サケも

このように「宮城の水産業」が再生できましたのも組合員皆さまのご努力と関係各位のご協力のたまものであり、衷心より感謝申し上げます次第であります。

本年秋季には、天皇皇后陛下の御臨席を仰ぎ、「第40回全国豊かな海づくり大会」食料王国みやぎ大会」が「よみがえる 豊かな海を

結ぶに、本年も皆さまのご繁栄の一年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたしまして

この大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く理解してもらい、つくり育てる漁業を進め日本の漁業の振興と発展を図ることを目的とするものです。組合員の皆さま、大会に向けて、みやぎの水産を一緒に盛り上げていきましょう!!



経営管理委員会会長・丹野一雄

齋藤吉勝氏に栄誉 黄綬褒章、一筋の道に光

水産業に精励し、模範となる技術や実績が認められ、当組合の前経営管理委員会副会長・齋藤吉勝氏(75)が令和元年秋の黄綬褒章に輝いた。昨

年12月17日、農林水産省講堂で江藤拓農林水産相から褒章と章記を受け取った。「ただただ光栄。

たくさんの方の支えのおかげ」と静かに喜びをかみしめる。

足と同時に経営管理委員会委員に就任。翌年6月からは初代副会長として「県一漁協」の実現に向け奔走した。23年3月の東日本大震災からの復興にも力を尽くした。

震災からわずか12日後に、被災を免れた店舗で、通帳が津波で流出していても預貯金の払い戻しができるように対応。100キロのガソリンの緊急供給も実施するなど、組合員の生活再建に心血を注いだ。

「復興は確実に進んでいる。皆が力を合わせた成果」と笑顔を見せる。

生まれも育ちも七ヶ浜町代々崎。ノリ養殖に60年近く従事し、過去3度、皇室への献上品に選ばれたほどの腕前。環境変化に強い種苗の新品種作出やブランド化にも励む。「仕事が趣味」と言い切る熱い思いが、宮城産全体の価格、品質アップにもつながっている。

漁業者の高齢化が進む中、担い手の確保・育成のために「資源を守って次世代につなぐことが大切。漁業とは無縁で育った若者を、各地で迎え入れ、育てる試みも必要になってくる」と齋藤氏は語る。

「豊かな海に感謝しながら、共に手を取り合い、課題を一つずつ解決していけば必ず明るい未来は開ける。協同組合の『助け合い精神』を忘れないでほしい」と願う。



齋藤吉勝氏の略歴

平成10～23年	南カネセン代表取締役
昭和59～63年	代々崎漁業協同組合監事
平成2～8年	同理事
8～11年	同代表理事副組合長
11～15年	七ヶ浜町漁業協同組合理事
15～19年	同代表理事副組合長
19～20年	宮城県漁業協同組合経営管理委員会委員
20～23年	同副会長
23～26年	同委員
26～29年	同副会長
19～29年	宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所運営委員長
29年～現在	同副運営委員長
22年～現在	宮城県漁業共済組合第一理事
13～16年	宮城県漁業信用基金協会監事
16年～現在	同理事
23年～現在	宮城県JF共済推進本部理事
11～17年	七ヶ浜町農業委員会委員
24～28年	宮城海区漁業調整委員会委員
28年～現在	同会長代理
平成16年	七ヶ浜町長表彰(産業功労)
22年	宮城県知事表彰(産業功労)

足と同時に経営管理委員会委員に就任。翌年6月からは初代副会長として「県一漁協」の実現に向け奔走した。23年3月の東日本大震災からの復興にも力を尽くした。

震災からわずか12日後に、被災を免れた店舗で、通帳が津波で流出していても預貯金の払い戻しができるように対応。100キロのガソリンの緊急供給も実施するなど、組合員の生活再建に心血を注いだ。

「復興は確実に進んでいる。皆が力を合わせた成果」と笑顔を見せる。

生まれも育ちも七ヶ浜町代々崎。ノリ養殖に60年近く従事し、過去3度、皇室への献上品に選ばれたほどの腕前。環境変化に強い種苗の新品種作出やブランド化にも励む。「仕事が趣味」と言い切る熱い思いが、宮城産全体の価格、品質アップにもつながっている。

漁業者の高齢化が進む中、担い手の確保・育成のために「資源を守って次世代につなぐことが大切。漁業とは無縁で育った若者を、各地で迎え入れ、育てる試みも必要になってくる」と齋藤氏は語る。

「豊かな海に感謝しながら、共に手を取り合い、課題を一つずつ解決していけば必ず明るい未来は開ける。協同組合の『助け合い精神』を忘れないでほしい」と願う。



後藤清広部会長

戸倉力キ部会に天皇杯 祝賀会 養殖改革に決意新た

当組合の志津川支所戸倉出張所力キ部会(後藤清広部会長、34経営体)が、今年度の農林水産祭の水産部門で最高賞の天皇杯に輝いた。東日本大震災を機に過密養殖から脱却して品質や生産性の向上、環境負荷の低減を図る漁業を実現した点が高く評価された。記念祝賀会が昨年12月14日、南三陸町の南三陸ホテル観洋で開かれ、関係者約200人が受賞の喜びを分かち合った。

祝賀会で同支所の佐々木孝勇運営委員長が「ワンチームとなってまい進した結果、国内外に発信できる成果となり、受賞につながった。持続可能な養殖業を子々孫々に伝えていきたい」とあいさつした。

南三陸町の佐藤仁町長は「自然環境の維持から後継者の確保、育成までも視野に入れた力キ部会の取り組みは、この国の産業を発展させる一つのモデルケースになる」と祝福した。

丹野一雄経営管理委員会会長や小野寺五典衆院議員らも駆け付け祝辞を述べた。



鏡開きで受賞を祝う関係者ら

祝賀会では、同支所の佐々木孝勇運営委員長が「ワンチームとなってまい進した結果、国内外に発信できる成果となり、受賞につながった。持続可能な養殖業を子々孫々に伝えていきたい」とあいさつした。

全漁連主催の今年度漁協系統功労表彰式が昨年11月22日、東京都千代田区の如水会館で開かれ、当組合からは3氏が表彰を受けた。

漁協運動功労者に表浜支所運営委員長で経営管理委員会副会長の木村千之(せんし)氏(68) 石巻市IIが輝いたほか、漁業振興功績者に元本所のり部会長の相澤良弘氏(73) 七ヶ浜町IIと、前本所かき部会長の高橋文生氏(69) 石巻市IIが選ばれた。

右から高橋文生氏、丹野一雄会長、木村千之氏、相澤良弘氏

仙台湾に保護区域 3面に記事



3面に記事

組合からのお知らせ 信用共済部

さらに利用しやすく 保証型ローンを各種用意

マイホームの夢、快適な進学、漁業の未来、そのなかりライフ、お子さんとして毎日の生活のために。当組合は一人一人のライフスタイルに合わせたジャックス保証型ローン

金利1%軽減キャンペーン

対象期間：令和1年10月1日～令和2年3月31日

リフォームローン 金利 3.400%～2.400% 貸付用途 住宅取得・住宅設備購入、キッチン・トイレ・浴室等リフォーム、パリアフリー工事、太陽光発電等 借付限度 10万～1,500万円以内 返済期間 6ヶ月～20年以内	マイカーローン 金利 2.750%～1.750% 借付用途 自動車購入、車検、修理費用、マイカーローン借換ローン、借換専用自動車等 借付限度 10万～1,000万円以内 返済期間 6ヶ月～10年以内	教育ローン 金利 2.550%～1.550% 借付用途 学費・教材費、教育費・制服代、学費補助金1年分、仕送り増進、教育ローンの借換資金等 借付限度 10万～500万円以内 返済期間 6ヶ月～16年10ヶ月以内
多目的ローン 金利 3.250%～2.250% 借付用途 耐久消費財購入等の健全な資金、空き家の解体・改修費用、転居費用・引越し費用等 借付限度 10万～500万円以内 返済期間 6ヶ月～10年以内	無担保住宅借換ローン 金利 3.300%～2.300% 借付用途 住宅金融支援機構、公的および民間住宅ローンの借り換え等 借付限度 50万～1,500万円以内 返済期間 6ヶ月～20年以内	フリーローン 金利 4.450%～3.450% 借付用途 自由(事業性資金を除く) 借付限度 10万～500万円以内 返済期間 6ヶ月～10年以内

※金融機関の定率などにより内容を変更・中止させていただく場合がございます。
 ※事務の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
 ※ご不明な点、ご相談等は必ずお客様の支所または最寄センターまでお申し付けください。

「金利1%軽減キャンペーン」を実施中。ぜひこの機会に相談ください。

●基準金利から1.00%軽減したキャンペーン適用金利(年利)は、リフォームローンが2.400%、マイカーローンが1.750%、教育ローンが1.550%、多目的ローンが2.250%、無担保住宅借換ローンが2.300%、フリーローンが3.450%。

●例えば、住宅ローン金利は超低金利が

「金利1%軽減キャンペーン」を実施中。ぜひこの機会に相談ください。

●基準金利から1.00%軽減したキャンペーン適用金利(年利)は、リフォームローンが2.400%、マイカーローンが1.750%、教育ローンが1.550%、多目的ローンが2.250%、無担保住宅借換ローンが2.300%、フリーローンが3.450%。

●例えば、住宅ローン金利は超低金利が



石巻3支所 ASCカキをPR 祭りで販売、長蛇の列



第18回石巻かき祭りが昨年11月23日、石巻市水産総合振興センターで開催された。当組合の石巻市東部、石巻湾、石巻地区の3支所と市などでつくる石巻かきブランド化事業委員会(会長・石森裕治)が主催。2018年4月に水産養殖管理協議会(ASC)の国際認証を取得した「石巻産カキ」をPRした。

開会行事で石森会長が「一句の味覚を届けられ、ほっとしている。存分に味わいながら、浜の元気な姿も感じ取ってほしい」とあいさつ。当組合の松本洋一理事長は「石巻産カキは環境にやさしく、安全・安心な責任ある養殖水産物」と強調した。

ASCが環境などに配慮した養殖との「お墨付き」を与えた同3支所管内(海域)のカキは身入りも十分。生食用のむき身販売があったほか、かき飯やのり入りのかき汁、鉄板焼き、蒸しがきなど振る舞われ、食べ比べを楽しもうとする人が長蛇の列をつくった。

ASC認証は2020年東京五輪・パラリンピックで食料調達基準に利用されるなど世界的に信頼度が高く、石巻産カキの需要は今後一層増していくことが期待される。

「獲ればいい」ではない 漁業者自ら保護区域設定

仙台湾小型漁船漁業部会

今年度も、仙台湾に12月1日から4月30日まで保護区域4カ所が設定された(詳細は同封チラシ)。当組合仙台湾小型漁船漁業部会が主体となり、県とのタイアップ・指導のもと、平成17年から保護区域を設定している。マコガレイの産卵場



漁業者、当組合職員、県担当で2隻の船に分乗し、保護区域に目印のポンデンを設置

保護区域4カ所です。この期間、一切の動植物の採捕を禁ずる。釣り船も底引きも全て対象となる。「漁師ってというのは獲つてなんぼだけど、日本の漁師は獲るのがうまい。資源が枯渇しないように、そして後継者のため将来のために魚を育てなくてはならない」と、同部会の部長で当組合監事の鈴木政志さんは話す。「海はどこまでも大きくいくらでも魚がいる。ついでに考えは間違いない。うちの組合員は考えてきた」。

国や県で担い手対策に懸命に取り組む中、効果も出てきている中、魚のいない海にしてはいけないと認識している。「獲ればいい」では話にならない。

漁業従事者団体自らが資源保護のための規制に乗り出したのは東北地方ではほぼ初めてであった。「世界的に漁業規制の動きがある中、沿岸は自分たちで守っていく」と意見が一致した。

そのほか県や漁協の指導も受けながら、産卵時期に一定期間漁を休んだり、小型魚の海中還元、ヒラメやカレイ類の稚魚を放流するなどの努力もしている。ヒラメやホシガレイは水揚げから協力を天引きし、放流資金

に充てている。さまざまな努力のかけもあり、マコガレイの水揚げは、平成17年には120tだったが、平成30年には281tと2倍以上に回復している。

こうした取り組みは「漁師がいる限り継続したい」と鈴木部長は話す。「長く活動してきた。ここでもう一回手綱を引き締めた。人が決めたことではなく、自分たちで決めたことだから」。

「いまはほかのグループの漁師さん方も資源管理の努力をしているはず」と鈴木部長は話す。「漁師一人一人が監視員となり、違反者はいない」。逆に他地域の漁師さん方に協力してもらっているの

だ。話す。毎年チラシをつくり、漁業者にも遊漁船業者や釣り具店にも配布している。釣り具店などではチラシを手取る人も少ないため、一昨年度にはポスターも作成し、周知を徹底している。

15年目となった今年度も、例年通り設定するかどうかは部会を開いて決めた。設定すると決まると鈴木部長から松本洋一当組合理事長に要望書を出し、宮城県漁業調整委員会の承認を経て指示が発せられ、部会員たちは自ら作成したポンデン旗を保護区域に設置する。決定から実施まで自主的に行っているのは、活動を始めたときから変わらない。

水産業の成長産業化に向けた改革の実践に関する特別決議

我が国の水産業は、国民への安全・安心な食料の安定供給をはじめ、漁場環境保全、国境監視ネットワーク構築など、多面的機能を発揮してきた。その中でJFは、総合事業体としての役割を発揮することにより、組合員の漁業生産活動を支え、漁村地域コミュニティの維持と発展に大きく寄与してきた。

一方でJFグループを取り巻く環境においては、沿岸漁業・養殖業の生産額増加や、国内外の水産物需要の高まりがありながらも、消費動向および構造に大きな変化がみられるなど、これらに的確に対応することが求められる。

このような状況を踏まえ、我々JFグループは、漁業者とともに自らの役割と使命を再確認し、水産業の成長産業化に向けた浜の構造改革をさらに押し進め、組織の総力をあげて取り組んでいくことをここに決議する。

成長産業化に向け改革 全漁連 代表者集会で特別決議

全漁連(岸宏会長)は昨年11月22日、東京都千代田区の砂防会館で「JF全国代表者集会」を開いた。JFグループの運動方針を決める5年に1度の全国大会で、各地の漁協代表者はじめ、安倍晋三首相や江藤拓農林水産相、鈴木俊一自民党総務会長ら約千人が参加。

「水産業の成長産業化に向けた改革の実践」JFグループが漁業者とともに自ら拓く「浜の未来」をスローガンとする5年間(2020～24年度)の運動方針および「水産業の成長産業化に向けた改革の実践に関する特別決議」を採択した。

全国に知られる良質種ホヤの産地



宮城県漁業協同組合 谷川支所
谷川支所 組合員数104人、うち准56人。職員は4人。平成30年度の販売取扱高は5億3200万円。国内の種ホヤの8割ほどを生産する。種ホヤは組合員が個別に相対で販売するため組合の取扱高には含まれない。

▶ 谷川支所

支所を訪ねて

仙南支所



安住留治郎運営委員長



今野昭彦支所長

鮫浦湾の3支所統合
平成25年に、鮫浦湾の泊浜・谷川、鮫浦の3支所が統合した。3地区ともホヤ・ホタテを中心とした養殖を行い、谷川・鮫浦は種ホヤの生産でも知られている。泊ではサンマ船などを持ち漁船漁業が盛ん。それぞれ個性があり、また販売手数料も異なる3浜をまとめて

の、ゼロからのスタートだった。初年度、次年度は赤字だったものの、3年目から黒字に転じた。今野昭彦支所長は昨春に赴任。「考え方も異なる3つの地区をまとめていかないと」と気を引き締める。「そのためには浜に行つて話をすること。最南端のホタテ養殖今年度の漁船漁業はサンマをはじめ、コウナゴ、イカ、そして秋サケ

と、残念ながらどの魚種も芳しくなかった。「ここまで悪いと思わなかった。ショックを受けている」と安住留治郎運営委員長は話す。ホタテは全国でも最南端の養殖地。そのため、地球規模での温暖化が問題となっている今、ここは最も影響を受けやすいだろうと警戒する。しかし今シーズンはへい死もなく成育も順調だ。

支所の宝、青年部
平成28年に仮設住宅で誕生した青年部は支所の誇り。今まではばらばらだった3つの浜がつながり、若い力が結束して、磯焼け対策のみならずホヤ幼生調査、さまざまな試験研究など多くのことに取り組んでいる。「団結力は素晴らしい。支所にとつての財産」と安住委員長は目を細める。漁家子弟の補助事業で若者が戻り、後継者が比較的多いこともあり、誕生してまだ浅い青年部は活気に満ちている。

知恵と団結の力で
残念だったのは、昨秋サケマスふ化放流施設が完成し、市からの委託を受けて青年部が増殖をす

る計画だったが、大雨のために種卵を入れる前に壊れてしまったこと。不漁に加え大きな痛手となった。稚魚を購入して放すということも考えたが、今シーズンはどこも不漁のため卵が全体的に不足している。放さなければ帰ってこないと分かっているが、数が確保できるといふのが問題だ。今年、ホヤの東電の賠償契約期間が終わる。いままでも安くて差額を補償されていたが、業者がこれまでのような安値でしか買えないとなつたら種の商売が成り立つのかと今野支所長は心配する。生産者は正念場だ。

不安要素はあっても、この支所の自慢は「いつも明るく仲良く」と職員の間から声がかかる。なるほど事務所はいつも和気あいあい。いい時も悪いときもあるが、青年部、職員、そして組合員の「一人の力」で乗り越えていく。

岩崎幸雄支所長
この先アカガイばかりに頼ることのないよう、試験的にワカメ養殖に着手している。初めての試

みだがなかなかのワカメができた。外洋なので海が荒れた時どうなるか、試験を繰り返しながら「少しでも生活のたしかなれば」と考えている。

それが沖のほうまで堆積した。網が破損してしまつたところもある。「海で生活する者にとってはこれが来年も続いたら死活問題」と猪又賢運営委員長。「ふ化放流事業のほうも回帰率も含め今後見直していく必要があるのではないか」と岩崎支所長も心配する。

「うちの組合員は小さいながらも団結力がある」と猪又賢運営委員長。その団結力で、数々の苦難を乗り越えてきた。昨年末には念願の漁具倉庫が完成した。定置網も収納できる大きなスペースや、クレーン車も入れる天井の高い部屋もある。また現在全長80mの波除堤も整備中だ。



岩崎幸雄仙南支所長

仙南支所（閉上） 組合員数54人、うち准37人。職員は2人。平成30年度販売取扱高は1億3100万円。その8割以上をアカガイが占める。アカガイけた曳を中心に、ホッキその他貝類、漁船漁業など。市場を持ち、アカガイ入札には支所職員が毎朝出かける。巨理・山元とともに、支所長は岩崎幸雄氏が務める。

「絶品、日本一」赤貝の閉上

「閉上の赤貝は全国に知られ、銀座の高級寿司店でも日本一と評価されている。磯の香り、歯応えのよい肉厚の身、上品な甘み、美しく飾り包丁を入れたそれは、高級店のなかでも最高級品だ。多くの組合員がアカガイに着業する中、一昨年度、昨年度と貝毒規制による出荷自粛が長く続き、大打撃となつた。休漁期間が明け

た昨年9月からは順調に出荷できているが、10月の台風19号で、ちょうど刈り入れを終えた水田から稲わらや草が大量に漁場に流れ込み堆積した。仙台・閉上・巨理・山元のアカガイ船と小型底引船の連絡協議会で回収に取りかかっている。

「自然だからどうしようもないけど、海は生活の種だから、やれることがあればまずやって、海はきれいにして」と出雲浩行運営委員長はそ

う話す。普段から海で出たゴミは各自が市場事務所に持ち帰り分別することも徹底している。閉上のアカガイは本場に日本一なのか。宮城大学の協力で調べたところ、うま味成分が他産地のものよりも多いという結果が確かに出た。現在はより色みのよい貝にするための条件を探っている。また、出雲運営委員長自身たびたび築地・豊洲に足を運び、問屋に評判を聞きに行く。

しかし2年続きの出荷自粛で、「閉上のアカガイを求めてくれていた市場、仲卸、料理店、すし店の皆さんも、いつまでもモノがなければ他産地に移行してしまう。何か

対策を考えなくては」と岩崎幸雄支所長。この先アカガイばかりに頼ることのないよう、試験的にワカメ養殖に着手している。初めての試

みやぎまるごとフェスティバル」が昨年10月19、20の両日に仙台市青葉区の勾当台公園・市民広場等で開かれ、当組合は宮城県産水産物の魅力をアピールし、今年秋に本県で開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」への機運を高めました。

当組合が毎年参加し、20年目を迎えた同フェス。今回は台風19号の影響で規模を縮小しての開催となりましたが、当組合は勾当台公園の「豊かな海づくりフェスタ」会場で2日間にわたり出店。キッチンカーを使った生カキのフライの試食販売会が盛況だったほか、蒸しホヤや塩蔵ワカメ、新商品の「みやぎサーモンSMOKE」などの特価販売も好評でした。

全国豊かな海づくり大会はことし9月27日、石巻魚市場と石巻漁港を主会場に開かれます。本県初開催となる海づくり大会の成功に向け、全力で取り組んでいきます。



出雲浩行運営委員長(右)と今年度退職する、職員の相沢さん

「自然だからどうしようもないけど、海は生活の種だから、やれることがあればまずやって、海はきれいにして」と出雲浩行運営委員長はそ

う話す。普段から海で出たゴミは各自が市場事務所に持ち帰り分別することも徹底している。閉上のアカガイは本場に日本一なのか。宮城大学の協力で調べたところ、うま味成分が他産地のものよりも多いという結果が確かに出た。現在はより色みのよい貝にするための条件を探っている。また、出雲運営委員長自身たびたび築地・豊洲に足を運び、問屋に評判を聞きに行く。

しかし2年続きの出荷自粛で、「閉上のアカガイを求めてくれていた市場、仲卸、料理店、すし店の皆さんも、いつまでもモノがなければ他産地に移行してしまう。何か

みやぎまるごとフェスティバル」が昨年10月19、20の両日に仙台市青葉区の勾当台公園・市民広場等で開かれ、当組合は宮城県産水産物の魅力をアピールし、今年秋に本県で開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」への機運を高めました。

当組合が毎年参加し、20年目を迎えた同フェス。今回は台風19号の影響で規模を縮小しての開催となりましたが、当組合は勾当台公園の「豊かな海づくりフェスタ」会場で2日間にわたり出店。キッチンカーを使った生カキのフライの試食販売会が盛況だったほか、蒸しホヤや塩蔵ワカメ、新商品の「みやぎサーモンSMOKE」などの特価販売も好評でした。

全国豊かな海づくり大会はことし9月27日、石巻魚市場と石巻漁港を主会場に開かれます。本県初開催となる海づくり大会の成功に向け、全力で取り組んでいきます。

みやぎまるごとフェスティバル」が昨年10月19、20の両日に仙台市青葉区の勾当台公園・市民広場等で開かれ、当組合は宮城県産水産物の魅力をアピールし、今年秋に本県で開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」への機運を高めました。

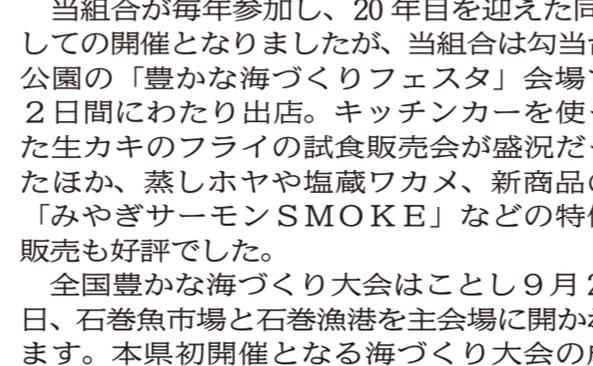
当組合が毎年参加し、20年目を迎えた同フェス。今回は台風19号の影響で規模を縮小しての開催となりましたが、当組合は勾当台公園の「豊かな海づくりフェスタ」会場で2日間にわたり出店。キッチンカーを使った生カキのフライの試食販売会が盛況だったほか、蒸しホヤや塩蔵ワカメ、新商品の「みやぎサーモンSMOKE」などの特価販売も好評でした。

全国豊かな海づくり大会はことし9月27日、石巻魚市場と石巻漁港を主会場に開かれます。本県初開催となる海づくり大会の成功に向け、全力で取り組んでいきます。

海づくり大会をPR! まるごとフェス出店、盛況!



大勢の市民らでにぎわった当組合の出店ブース



キッチンカーも出動。熱々のカキフライを振る舞いました